

令和6年度実技講習会 「アイデアスケッチ編」

～だれもが使いやすいスプーンをデザインしよう～



1 はじめに デザインと機能、用途

スプーンのデザインを考える前に、私たちにとって身近な道具のひとつであるはさみについて見てみたいと思います。使う人にとって必要な機能を備えたデザインの例をいくつか紹介します。3歳くらいの子どもが使うことを想定したはさみは、刃がプラスチック、持ち手は柔らかい素材でできていて、はさみを使い慣れていない小さな子どもが安全に使うことができるよう工夫されています。また、机に置いたまま使うことができるはさみは、持ち手の形に工夫がみられ、握る力が弱い人や両手が使えない人でも楽に作業ができるようになっています。



2 身の回りのモノを見てみよう

スプーンの基本的な機能について考えましょう。スプーンという道具は、何をするもののでしょうか。また、スプーンを使うことで、どんなことができるのでしょうか。そして、スプーンはどのような場面で使うものなのでしょうか。一般的なデザインの金属製スプーンを手にとって観察しながら、ワークシートにスプーンの機能を書き出してみよう。

〈ワークシート記入例〉

1. 身の回りのモノを見てみよう



スプーンって

何をするものなのだろう（基本的機能）

- 液体をすくって口に運ぶ
- かき混ぜる
- すりつぶしてなめらかにする
- やわらかいものを切る
- たたいて割る

3 形・大きさ・重さ・素材を検討しよう

次に、使う人によって、スプーンの道具としての使いやすさはどう変わるか、考えてみましょう。

普段使われることが多いオーソドックスな金属のスプーンは、以下の①～⑤の人たちが使うとき、「形、大きさ、重さ、素材」は、使いやすさにどう影響するでしょうか。2で考えた基本的な機能を果たすことができるでしょうか。それぞれ「よい・ふつう・わるい」で判断してワークシートに書き込み、その理由も書きましょう。

- ①若年層 ②乳幼児 ③高齢者 ④肢体不自由者（病気やけがで手足を自由に動かすことが困難な方）⑤視覚障がい者

〈ワークシート記入例〉

②乳幼児

形	よい・ふつう・わるい
大きさ	よい・ふつう・わるい
重さ	よい・ふつう・わるい
素材	よい・ふつう・わるい

理由 スプーンを使い慣れていない小さな子どもにとっては重く口に運ぶことが難しい。硬い金属は思わぬけがにつながる危険性もある。

4 「だれもが使いやすいデザイン」のアイデアを出してみよう

3で考えたことをもとに、だれもが使いやすいスプーンにするためには、どのような工夫をしたら良いか、アイデアを出していきます。まずはアイデアを言葉にして、できるだけ多く箇条書きで書き出しましょう。

〈アイデア記入例〉

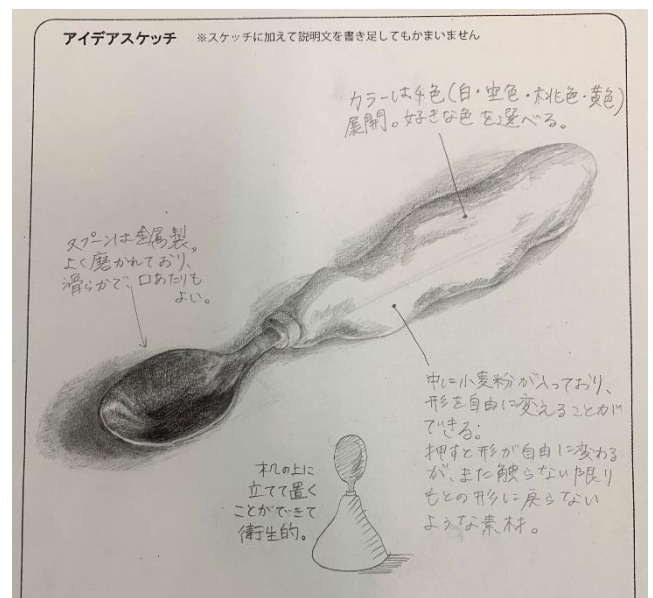
- ・持ち手にすべり止めをつける
- ・手首に固定できるひもをつける

- ・スプーンの先を小さくする
- ・持ち手を太くする
- ・持ちやすくするために持ち手にくぼみをつける

5 アイデアスケッチを描こう

ここまで考えたことをもとに、「だれもが使いやすいスプーン」のアイデアスケッチを描きましょう。大切なことは、単に「おもしろい形」や「美しい形」などにこだわるのではなく、目的に合ったデザインになっているかということです。また、絵そのものの巧拙や完成度よりも、考えたデザインの内容の伝わりやすさを重視しましょう。絵や図だけで伝わらない詳しい内容は、言葉で説明を付け足してください。また、なぜそのようなデザインにしたのか、デザインの意図を文章で説明しましょう。

〈アイデアスケッチの例〉



〈説明文の例〉

シリコンなどの柔らかい素材の中にワイヤーを入れて、使う人の手にしっかりと固定した状態を保つことができるようにした。口にあたる部分も柔らかい素材なので安全に使うことができる。くるくると丸めてコンパクトに収納できる。

使う人それぞれの手の大きさや握る力の強弱にぴったり合うように、持ち手に可塑性のある流動的な素材を使用した。食事の途中で使わないときは持ち手を円錐状にするとテーブルに立てることもでき、衛生的である。

6 発表 友だちのデザインを鑑賞しよう

できあがったアイデアスケッチを、グループで発表し合います。デザインの意図（なぜそのようなデザインにしたのか・デザインに込めた思い・工夫したことなど）を説明してください。友だちは、どんな視点でデザインしたのか鑑賞しましょう。

7 まとめ

今回の講座では、身近な道具を様々な視点から見つめ直し、新たなアイデアを発想する方法について学習しました。生活の中で何気なく使っている道具などが、どのような目的でつくられ、その目的を果たすためにどのように工夫されているか、普段からデザイナーの視点で見ると新たな発見があると思います。今回学んだことを、中学校の美術の授業や学校での活動、普段の生活の中で生かしてください。